

公的組織の民間活用(官民連携)

世界中の公的組織において、ニュー・パブリック・マネジメント (NPM) を推進する動きが活性化しています。アビームコンサルティングは、民間活用手法 (アウトソーシングや市場化テストなど) 導入や公的組織の経営改善に関する豊富な経験・知見を活用することにより、公的組織が解決すべき課題 (業務改善、組織活性化、内部統制強化など) を踏まえて、各組織の特性に応じた最適な民間活用手法の導入を支援いたします。

民間ノウハウ活用手法の特徴と導入対象

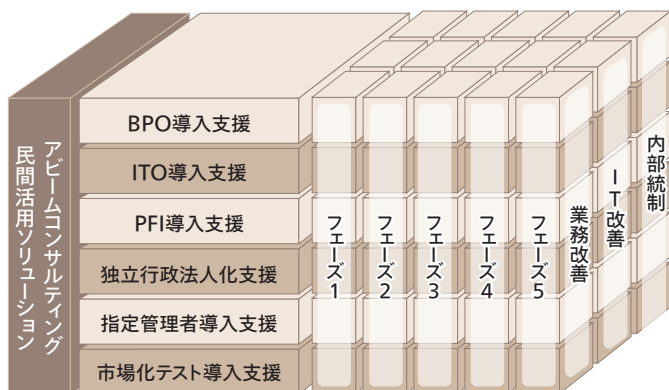
民間ノウハウ活用手法には、それぞれ以下のような特徴があります。民間ノウハウ活用手法を選択する場合には、導入効果を最大化できるように、対象となる業務と手法の適切な組み合わせを検討する必要があります。

		行政改革にて、民間活用を積極的に推進	民間ノウハウ活用手法の多様化
ソーシング	BPO	<ul style="list-style-type: none"> 組織における一部の業務プロセスを一括して専門業者に外部委託する手法 ビジネス・プロセス・アウトソーシングの略称 	公的組織(中央省庁、独立行政法人、地方公共団体など)の業務・IT全般
	ITO	<ul style="list-style-type: none"> 情報システムの企画・立案から開発、運用管理などの一部または全部を外部委託する手法 ITアウトソーシングの略称 	
PFI		<ul style="list-style-type: none"> 公的組織が直接公共施設を整備せずに、民間資金を利用して民間に施設整備と公共サービスの提供を委ねる手法 プライベート・ファイナンス・イニシアチブの略称 	合同庁舎、大学、学校、病院、自治体庁舎、警察、図書館など
地方独立行政法人		<ul style="list-style-type: none"> 業務の効率性や質の向上を図ることを狙いとして、地方公共団体とは別の法人格を有する法人を設立し、より独立性を強めた形で自律的、弾力的な運営を実施する手法 	公立大学、地方公営企業、試験研究、社会福祉事業の経営など
指定管理者制度		<ul style="list-style-type: none"> 公の施設の管理について、それまで地方公共団体の出資法人や公共的団体などのみが受託可能であったものを、民間企業なども含めて指定を受けること可能とした手法 	総合スポーツセンター、文化ホールの運営
市場化テスト		<ul style="list-style-type: none"> 「官」が独占してきた「公共サービス」について、「官」と「民」が対等な立場で競争入札に参加し、価格・質の両面で最も優れた者が、そのサービスの提供を担っていくこととする手法 	ハローワーク、窓口6業務、水道・下水道・公園などの管理業務

アプローチ

アビームコンサルティングは、数多くのアウトソーシング (BPO / ITO) や PFI、市場化テストなどの導入を支援してきました。これまで培った知見やノウハウに基づいた検討ポイントや方法論などの活用により、組織にとって最適な民間活用手法導入の実現を支援し、変革を推進します。また、民間活用において課題となる、業務改善やIT改善、内部統制整備を含めた総合的なサービスを提供します。

アビームコンサルティング 民間活用ソリューション



価値を最大化する取り組み

業務改善

民間活用手法の導入と合わせて、業務を抜本的に見直しすることにより、業務効率化や機能強化 (経営資源の再配置)を図る。

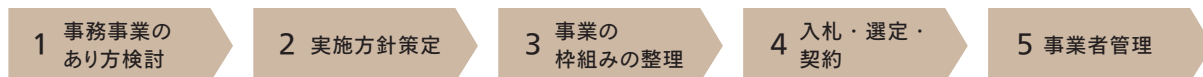
IT改善

民間活用手法の導入と合わせて、情報システム全体を評価し、情報システムの最適化やセキュリティ強化を図る。

内部統制

民間活用手法の導入と合わせて、関連事業におけるリスクの識別・分類・評価を行い、内部統制の仕組みを整備する。

各フェーズ作業概観



民間活用手法導入に際して、各公的組織にて必要となる作業

それぞれの公的組織においてサービス品質とコストが最適化された民間活用手法（PFI や市場化テストなど）を導入するためには、「1. 事務事業のあり方検討」「2. 実施方針策定」「3. 事業の枠組みの整理」「4. 入札・選定・契約」「5. 事業者管理」といった作業を実施することが必要となります。民間ノウハウの活用手法は多様化していますが、いずれの手法においても、公的組織側にて実施すべき作業はおおむね同様であり、以下のように整理されます。

	フェーズ	各フェーズの目標	主要作業
民間活用手法の導入までの作業	1 事務事業のあり方 (民間活用可能性) の検討	<ul style="list-style-type: none"> 組織内外の環境を踏まえて、事務事業のあり方が明確にされること 民間活用手法導入のメリット・デメリットが明確にされること 	<ul style="list-style-type: none"> 事業環境分析 事務事業のミッション最定義 事務事業のあり方明確化 民活手法の導入可能性調査
	2 実施方針策定	<ul style="list-style-type: none"> 民間活用手法の導入方針や事業の全体像が明確にされること 	<ul style="list-style-type: none"> 対象事業・業務の整理 事業の枠組みの明確化 事業者選定方針の明確化 導入～運営計画の策定
	3 事業の枠組みの整理 (実施要項策定)	<ul style="list-style-type: none"> 仕様(要求水準)やコスト(支払方法)などが明確にされること 入札方法・条件、提案要領、評価基準が明確にされること 契約内容が明確にされること 	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書(要求水準書)の策定 現行コスト／市場コストの把握 支払条件・評価手法の明確化 入札方法・スケジュールの策定 提案要領・評価基準の策定 リスク分担方法の明確化 契約書の策定
導入後作業	4 入札・選定・契約	<ul style="list-style-type: none"> 透明性、公平性および競争性の高い入札が実施されること 事業に最適な民間事業者が選定されること 	<ul style="list-style-type: none"> 意見・資料招請・入札公告 入札・評価・業者選定 契約締結
	5 事業者管理	<ul style="list-style-type: none"> 仕様と提案内容に則った事業運営が実施されること 	<ul style="list-style-type: none"> 要求水準の達成度評価 水準未達成の場合の対処 事業の継続改善（PDCA）

サービス概要

アビームコンサルティングの民間活用ソリューションでは、組織が置かれている環境や特性に応じて「コンサルティングサービス」と「アドバイザーサービス」を用意しています。お気軽にご相談ください。

コンサルティングサービス		アドバイザーサービス
コンサルタントが、ソリューションの作業（調査から資料作成まで）を包括的に実施	特徴	コンサルタントが、成果物雛形や方法論を提示しながら、成果物策定方法やポイントを随時助言
民間活用手法導入のノウハウを有する専門企業に、全面的に作業を依頼したい組織	想定顧客	自組織にて作業を実施する意向はあるが、民間活用手法導入の専門ノウハウを一部活用したい組織
アドバイザーサービスと比べて相対的に高価	価格	コンサルティングサービスと比べて相対的に低価
専任コンサルタントがプロジェクトチームを結成し、プロジェクト計画に基づいて着実に推進	サービス提供方法	顧客の課題種別に応じて、各専門領域に精通するコンサルタントが適宜打ち合わせに参画・助言を実施